

中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き



中央区まちかど展示館

2024 Winter
Vol.17
日本橋編 Part.8
TAKE FREE

【特集】
本町・室町・日本橋
日本橋
川と橋に写るまちの歴史

名橋とともに、江戸から続く繁栄のまち

江戸の暮らしを支え、進化を続けて現代へ
まちかど展示館訪問
冬の日本橋をそぞろ歩き
日本橋エリア散策MAP
Part.8
【連載】
中央区の食とアートを知る
食の痕跡、絵画の道楽



中央区まちかど展示館公式SNS



ホームページURL

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>



季刊誌 中央区まちかど展示館 Information

既刊Vol.01～Vol.16もダウンロードできます



- Vol.01 日本橋編
- Vol.02 銀座・京橋／月島編
- Vol.03 総集編
- Vol.04 月島編
- Vol.05 日本橋編 Part.1
- Vol.06 銀座・京橋編 Part.1
- Vol.07 日本橋編 Part.2
- Vol.08 日本橋編 Part.3
- Vol.09 銀座・京橋編 Part.2
- Vol.10 日本橋編 Part.4
- Vol.11 月島編 Part.2
- Vol.12 日本橋編 Part.5
- Vol.13 銀座・京橋編 Part.3
- Vol.14 日本橋編 Part.6
- Vol.15 日本橋編 Part.7
- Vol.16 銀座・京橋編 Part.4

中央区まちかど展示館ウェブサイト
季刊誌ダウンロードページ

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html>

次号Vol.18は佃・勝どき・晴海編です。

江戸文化を今に伝える各展示館を
訪問します。お楽しみに!

◎発行日:2024年12月17日

◎発行:中央区まちかど展示館運営協議会(中央区区民部文化・生涯学習課内) tel:03-3546-5346 mail:b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

◎制作:Asaba & Co ◎デザイン:AD-NA ◎撮影:kt-design ◎文:秋元祐子・沖山純久 ◎イラスト:堀口珠美

POST CARD

1 0 4 - 8 4 0 4

恐れ入りますが
85円切手を
貼って
お出しください。

中央区築地1-1-1 中央区役所(文化・生涯学習課内)
中央区まちかど展示館運営協議会
中央区まちかど展示館アンケート 係行

差し支えない範囲でご記入ください。
お答えいただいた個人情報、本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他にはありません。
当選された方には、下記住所に、贈品を送付いたしますので、お間違いないようご記入ください。

◎ご住所 〒

◎お名前

◎電話

◎メールアドレス

◎職業

◎年齢

中央区内の川と橋をご紹介する巻頭企画は、今回が最終回。

写真や版画に残る当時の姿とともに、今のまちを歩いてみよう。

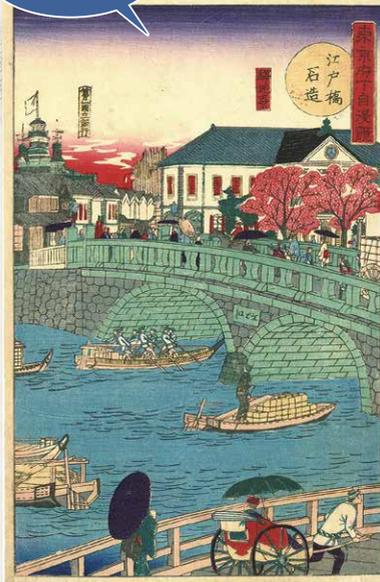
川と橋に写るまちの歴史

日本橋川

VOI-15で錨橋から下流をご紹介した日本橋川。神田川より分かれて隅田川へ注ぐ約4.8kmの二級河川です。江戸時代には水運に盛んに利用され、周囲は現在に至るまで、江戸・東京の経済と文化の中心地として繁栄しています。

1 江戸橋

17世紀に今より下流に初架橋、1875年石造りに、1901年鉄橋に。現在の江戸橋は、関東大震災の復興事業で昭和通りを整備する際に架け直されたもの。



東京府下自慢 江戸橋石造 / 歌川広重 (3代目) (明治初期)

現在

上には江戸橋ジャンクションが



現在は埋め立てられた川

開化絵に描かれた2連の石造アーチ橋



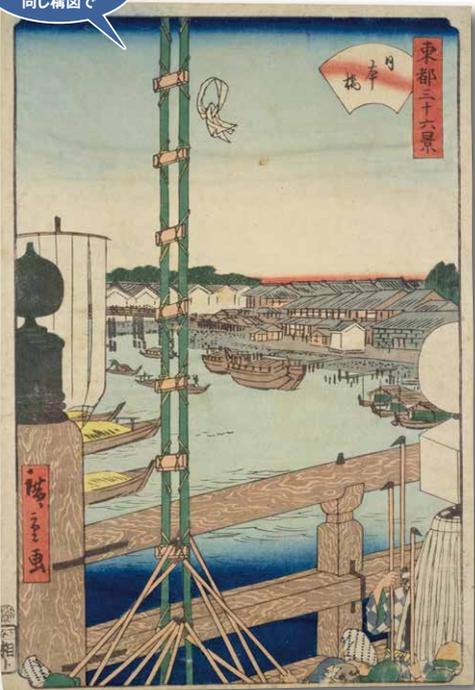
首都高速の建設前



江戸橋 / 京橋図書館撮影 (昭和32年)

2 日本橋

江戸開府の1603年に創架され、幕末までに幾度も焼失。20代目とされる現橋梁は明治44年竣工、青銅の和漢洋折衷の装飾を加えた石造2連アーチ橋で、国の重要文化財。上を走る首都高速は、現在日本橋区間地下化工事が進められています。



東都三十六景 日本橋 / 歌川広重 (2代目) (1862年) 画像提供 国立国会図書館

現在



各所の彫刻も鑑賞したい



- P2~6江戸地図: 復刻版 御江戸大絵図 原本刊行年: 天保14 (1843)年 協力: こちずライブラリ
- P2~6画像提供: 中央区立京橋図書館

水運で大盛況の魚河岸 一日千両が動いたとか



帝都名所 日本橋魚河岸及び人形町馬喰町方面の遠望 (震災前)



南西橋詰「花の広場」にある日本橋由来記の碑。

平成23年、南東橋詰「滝の広場」に船着き場が完成。

現在地に移設される前の東京市道路元標



道路元標 / 池田氏撮影 (昭和36年)

橋の上に首都高速がない時代



日本橋 / 京橋図書館撮影 (昭和31年)

関東大震災で壊滅後に魚市場は築地へ



日本橋方面の惨状—日本橋魚河岸の焼跡 当時の面影をしのぶよしもない— / 国際写真情報 関東大震災号 (大正12年刊)

※参考として川が存在した江戸時代の地図も掲載しています。橋があった時代とは異なる場合があります。

日本橋川

3 西河岸橋

日本橋川右岸地域にあった西河岸町という地名からこの名に。関東大震災後、大正14年に架け替えられた橋が、平成2年度に修復されて現存。

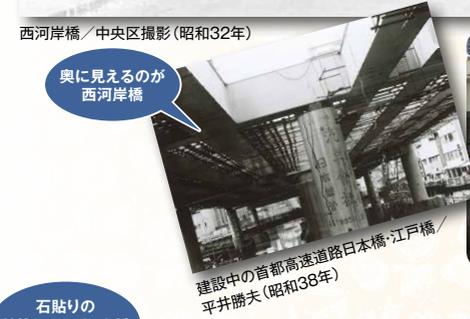
日本橋三越がよく見えた



西河岸橋 / 中央区撮影 (昭和32年)

現在

奥に見えるのが西河岸橋



建設中の首都高速道路日本橋-江戸橋 / 平井勝夫 (昭和38年)



北東の袂に橋や裏河岸の説明板があります。

明治6年に架け替えられた最後の木橋



東京開化名所 日本ばしより一石橋 / 歌川広重 (3代目) (1874年)

現在

4 一石橋

江戸初期よりあり、近くに金座御用の後藤庄三郎と御用呉服所の後藤縫殿助の屋敷があったことから「五斗十五斗(ごとうごじゅうご)で二石」ともして名付けられたとも。八つの橋が見渡せる江戸名所のひとつ。



石貼りの鉄筋コンクリート橋が完成



帝都の美観を添ふる一石橋の全景-開通式の当日- / 写真通信 大正11年9月號 (大正11年刊)



紙を貼って迷子の情報を知らせた江戸時代の石標。



大正11年築の親柱を中央区民有形文化財として保存。

5 常盤橋

3つの「ときわ橋」のうち最下流のもの。関東大震災後の復興で架橋。

左が常盤橋 右端は一石橋と親柱



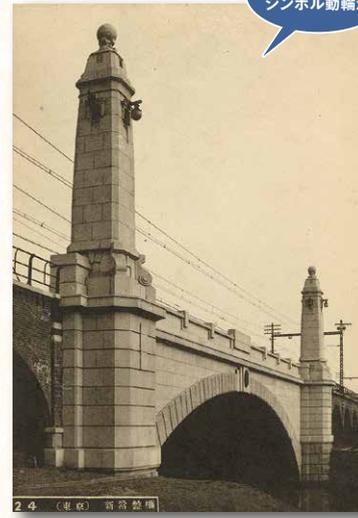
日本銀行 / 建築写真図譜 (昭和4年刊) / 鬼頭氏所蔵

現在



大正15年に竣工した鉄筋コンクリートのアーチ橋。

中央には鉄道のシンボル動輪が



24 (車庫) 高島線橋 建築写真類聚 橋梁 巻一-新常盤橋- (昭和2年刊)

現在



新幹線や高速道に囲まれる今の橋は、昭和63年竣工。

7 新常盤橋

最上流にあり新と付くも、鉄道橋として誕生したのは大正8年。

6 常盤橋

真ん中にあるのが、江戸城の外郭正門、常盤橋御門に架けられた常盤橋。明治10年築の人道橋は、都内に残る最古の石橋。

木製の常盤橋 奥に常盤橋御門



常盤橋 / 明治初年 / 季刊日本橋 第4号 (昭和11年刊)

常盤橋御門は明治初期に解体に



ときわ橋-南側- / 池田氏撮影 (昭和37年)

現在



東日本大震災で被害を受け、令和3年に修復完了。

旧常盤橋親柱 / 中央区撮影 (昭和49年)

現在



平成30年開通、エレベーターも備える人道橋。並行する電車がよく見えます。

8 竜閑さくら橋

楓川

かえて

元は江戸前島の海岸に当たり、江戸の建設時に埋め残されて水路に。西岸の本材木河岸等、水運に活躍しました。昭和37年、川底に道路を建設する形で首都高速が開通。そのまま跨道橋となった橋が残ります。

「もみじがわ」の読みも長年混在。



9 海運橋

江戸時代には、東詰に船手頭へふねてがしらへ向井将監(しょうげん)の屋敷があったことから将監橋、海賊橋と称されました。明治に海運橋と改称、そばに日本初の銀行が置かれて新名所に。



現在



明治の親柱2基が残る

大正期に造られた歩道の広い橋

10 千代田橋

明治43年創架。関東大震災後の橋が現存。



建築写真類聚 橋梁 巻二 千代田橋 (昭和2年刊)

明治6年に第一国立銀行に現みずほ銀行兜町支店



海運橋三井組会社図・昇斎一景 (1872年)

現在



※参考として川が存在した江戸時代の地図も掲載しています。橋があった時代とは異なる場合があります。

11 新場橋

17世紀に創架。1674年、西詰に新しい魚市場が開かれ新場と呼ばれることに由来。



久安橋から新場橋を望む / 京橋図書館撮影 (昭和32年)

12 久安橋

現在



昭和5年竣工の橋上を平成3年に整備。江戸期には下野橋や越中橋と呼称。

13 宝橋

現在



上下を高速道路に挟まれた橋上に小さな公園。西詰には宝地藏尊が。

14 松幡橋

現在



西に松屋町、東に因幡町があり一字ずつ取ったそう。現在の橋は昭和5年築。

15 弾正橋

現在

江戸初期、東詰にあった島田弾正の屋敷から命名。明治11年、日本初の純国産鉄橋に。大正2年には北側に新たに架橋。大正15年に架け替えたものが現在の橋です。旧橋は昭和4年、江東区へ移設。



移設後の弾正橋 / 京橋図書館撮影 (平成6年)



楓川弾正橋公園

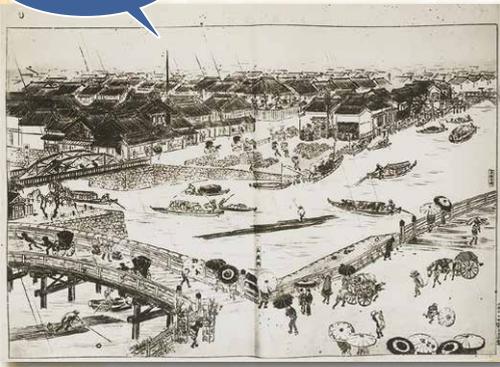
高速が通る以前の楓川の風景



今は交通量の少ない生活道路



鉄橋の弾正橋に、白魚橋(京橋川)と真福寺橋(三十間堀川)



三つ橋 / 新撰東京名所図会 (明治34年)

八幡橋という人道陸橋として現存国の重要文化財



外濠川

江戸城の外郭の堀の一部であり、現・呉服橋交差点で日本橋川から分かれ、現土橋交差点で汐留川につながっていた流路。戦後瓦礫処理のために埋め立て。

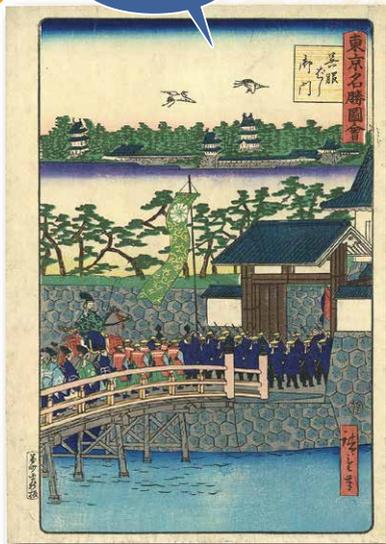


現在は埋め立てられた川

1629年に築かれた呉服橋御門

16 呉服橋

江戸城枡形門の二呉服橋御門の橋。呉服商が多かった呉服町からこの名に。



東京名勝図会 呉服はし御門 / 歌川広重(3代目)(1868年)



呉服橋交差点にその名を残すのみ

17 八重洲橋

徳川家康の外交顧問として活躍したオランダ人航海士ヤン・ヨーステンの屋敷があったことが八重洲という地名の由来とされています。



現在



震災後に架橋された2代目八重洲橋

復興局橋梁設計圖集—八重洲橋—第3輯(昭和4年刊)

18 鍛冶橋

鍛冶屋の多い鍛冶町に因む。



埋め立てられる前の外濠川

現在

市保健局公園課構内より鍛冶橋方面を望む / 河濤整理計画(昭和11年)

コラム

町名の移り変わり

今回の展示館のある町の江戸最後(慶応3年)から、大正の関東大震災後を経て、現在までの名前の変遷をご紹介します!

- 日本橋 ← 通・江戸橋 ← 西河岸町・呉服町・元大工町・数寄屋町・捨物町・上横町・通・元四日市町・万町・青物町・平松町・佐内町・川瀬石町・新右衛門町・箔屋町・樽正町・下横町・本材木町ほか
- 日本橋室町 ← 室町 ← 本銀町・本石町・本石町十軒店・本町・室町・駿河町・品川町・品川町裏河岸・瀬戸物町・本小田原町・長浜町・本船町ほか

◎日本橋本町についてはVol.12をご覧ください。

※参考として川が存在した江戸時代の地図も掲載しています。橋があった時代とは異なる場合があります。

まちかど展示館訪問

Daichi Sankyo くすりミュージアム

くすりの情報発信基地で、くすりをもっと身近なモノに。



ポップなカプセルが目印のミュージアム入り口。



オリジナルグッズの小粋な扇子と手拭い。薬の町の日本橋らしさ満開。



各コーナーを解説するパンフレットは、楽しいクイズ付き。



オリジナルキャラ「くすりーな」と髭の「ジェームス」たちと記念撮影!



「ミュージアムの特徴は？」

くすりミュージアムは、大型スクリーンのシアターやデジタルゲーム、コンピュータグラフィックなどを駆使した体験型のミュージアムです。ご来館いただいたお客様には受付でICチップ搭載のメダルをお渡しします。それを各コンテンツのコントローラーに置くと、映像とともに解説が開始し、薬について、ゲーム感覚で楽しく学べます。さらに当館は、新薬開発や薬剤の働きなど、子どもから大人までくすりの大切さについても学べる場です。

「開館以降変化したこととは？」

当館は「くすり」ともっと仲良くなれる」というコンセプトの下、2012年2月にオープンした見学無料の施設です。来館者の皆様にゆっくりと薬について学んでいただけるよう現在は事前予約制をとっています。来館をご希望の方は、「くすりミュージアム」のホームページから予約をお願いします。現代の様々な技術革新は、薬学の世界にも大きな影響を与えています。当館においても、刻々と変化する薬を取り巻く情勢に合わせて、「1階の「粒のくすり」コーナーと2階の「くすりシアター」の映像をアップデートするなど、より新しく有意義な情報を皆さまにお届けするよう努めています。

Daichi Sankyo くすりミュージアム

管理者:第一三共株式会社

- ◎ 東京都中央区日本橋本町3-5-1 ☎ 03-6225-1133
- ◎ 火~日曜日、祝日、振替休日(年末年始等を除く) ※要予約
- ◎ 10:00~17:30
- ◎ JR新日本橋駅5番出口 徒歩1分 ◎ 3 越前駅A10番出口 徒歩2分



近未来的な空間の中でひととき目を引く、巨大な人体模型。



「くすりの種」コーナーでは自然界の薬の原料を解説。



がんやmRNAワクチンに関する映像を大型スクリーンで上映しています!

「聚玉」の額装(複製)。
揮毫は徳川宗家16代
目当主・徳川家達
(いえさと)公。



創業当時を模した大きな瓦庇と、モダンな煉瓦造が目目を惹くはいばら本店。



1925年のパリ万博に出品した際、4代目当主に贈られた褒状(複製)。

椋原千代紙のカレンダーは月毎に花柄が代わり、毎年とても人気です。

和紙のタペストリーが圧巻の空間にぎっしり並ぶ美しい色柄の製品。



繊細な千代紙柄と製本会社とコラボした、開きやすさが魅力の高品質なノート。



河鍋晩斎筆の木版摺り美術画「菊花」。

まちかど展示館訪問

聚玉文庫ギャラリー

江戸から続く和紙文化と、人気作家の図案を現代の暮らしの中へ。



お話を伺った方
日本橋本店 次長
田村 英明さん

聚玉文庫ギャラリー

管理者・株式会社 椋原

- 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー ☎ 03-3272-3801
- 通年(祝日・年末年始を除く) ☎ 10:00~18:30(土日は17:30まで)
- 日本橋駅B6番出口 徒歩1分

長さ6ミリ、細さ約15ミリまで分割した黒文字の先をさらに細く削って仕上げている。



店先にさりげなく置かれた黒文字の鉢植え。



12支揃った千支楊枝。全て欲しくなる楽しい千支の図柄。



桐箱に「金千両」と入ったものも、縁起が良いと人気です



店内で黒文字を削る先代の雄一さん。



お話を伺った方
代表取締役
山本 亮太さん

お話を伺った方
先代
山本 雄一さん

楊枝資料館

管理者・株式会社 日本橋さるや

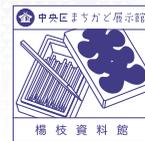
- 東京都中央区日本橋室町1-12-5
- ☎ 03-5542-1905 ● 月~土曜日(祝日を除く)
- 1月~金曜 / 10:00~17:00 土曜 / 12:00~17:00
- 三越前駅A1番出口・A6番出口 徒歩5分



国産ハーブの黒文字を原料に沖繩の蔵元とコラボした「黒文字リキュール」。



書道家が一つ一つ手作業で名前や絵を入れた桐箱。贈り物として人気。



まちかど展示館訪問

楊枝資料館

黒文字の手作りを守り続ける日本唯一の楊枝専門店

「聚玉」とはどんな意味でしょうか？
聚玉には「はいばらの品は玉を聚めたるが如し」といった意味が込められています。明治20年(1887年)に3代目当主の平三郎が、皇居明治新宮殿の室内装飾の御用を務めました。加えて、日本近代美術の発展に寄与してきた功績から、有栖川宮徳仁親王殿下より御染筆を賜った堂号なのです。この聚玉の額装のほか、店内には当店の歴史を物語る貴重な資料や、木版摺りの版木などを解説付きで展示しています。お買い物ついでにそちらのほうも、ぜひご覧いただけたらと思います。

「はいばらの和紙製品の特徴は？」
当店は文化3年(1806年)創業の和紙舗です。初代中村佐助が売り出した「雁皮紙」という高級和紙が江戸で大評判となり、今日の礎となりました。この滑らかな紙肌と光沢が特徴の製品は、今もなお販売し続けています。さらに各時代の当主が、酒井抱一や河鍋晩斎、竹久夢二、伊東深水など当代一流の画家たちに原画を依頼してきました。そこから生まれた扇子や団扇、木版摺り製品なども当店を代表するものです。それら優れた図案に、新しいコンセプトや技術を取り入れて、時代にマッチした「和紙のある生活」をご提案しています。

「黒文字の楊枝作りで大切なことは？」
黒文字の木は、自然のものですから均一ではないですね。仕入れの初期の頃は水分が多くて、徐々に乾いていくし、モノによっては癖があつて削りにくいものもあります。でも時間さえかければ、楊枝を削ること自体はさほど難しいことではないのです。しかし、同じくオリティーでたくさんつくるといったことがとても難しいところですね。(山本雄一さん)

「日本橋室町に移って11年目ですね。」
当店は宝永年間の創業以来、日本橋小網町で営業を続けてきましたが、2013年にここ日本橋室町に移転してきました。当時はコレド室町2、3のオープンの1年前で、この界限も様々な媒体の取材があり、その効果から来客は初めから多かったです。思います。偶然前を通りかかってウチを初めて知ったというお客様もかなりいたので、嬉しかったですね。インパウンドのお客様も増えてきて、楊枝入れの桐箱に名前など文字を入れるものなどが人気です。また、黒文字の楊枝を一本ずつ丁寧に仕上げる手仕事の魅力をお伝えしなくて、実演の日を設けています。楊枝づくりをはじめて5年ほどの私の父が、毎週水曜日の午前中に店内で作業します。(山本亮太さん)

日本橋エリア 散策MAP

今回は日本橋を中心に中央通り沿いをご紹介します。
日本橋を代表する華やかなエリアで、
歴史スポットや魅力あふれるお店を回ってみよう。



4 日本国道路元標 (複製)
▶▶ P15

日本橋の北詰西側、「元標の広場」には、街灯型の東京市道路元標とともに、台湾にはめ込まれた日本国道路元標のレプリカがあります。



5 黒江屋
▶▶ P15

元禄2年(1698年)、漆器の産地、紀伊国名草郡黒江村(現、海西市)から江戸へ、日本橋本町に店を構えたとこに始まる漆器専門店。



6 門洋菓子店 日本橋店
▶▶ P15

昭和20年代、先代店主が、現在地がビルになる前から木造の店舗で喫茶をスタート。昭和39年に現在のビルにオープンした歴史あるケーキ&カフェ。



聚玉文庫ギャラリー
▶▶ P11



7 ぶよお堂
▶▶ P15

明治30年に創業した軍隊用教育図書出版の武揚堂に始まり、出版地図販売等を移管する際に親しみやすいひらがな表記に。知る人ぞ知る地図専門店です。



Daiichi Sankyo
くすりミュージアム
▶▶ P9



楊枝資料館
▶▶ P10



はせがわ酒店 日本橋店
▶▶ P14

全国の酒蔵から吟味する日本酒に定評のある酒屋が2018年に飲食併設店としてオープン。焼酎、ワイン、酒器まで約700点が並ぶ!



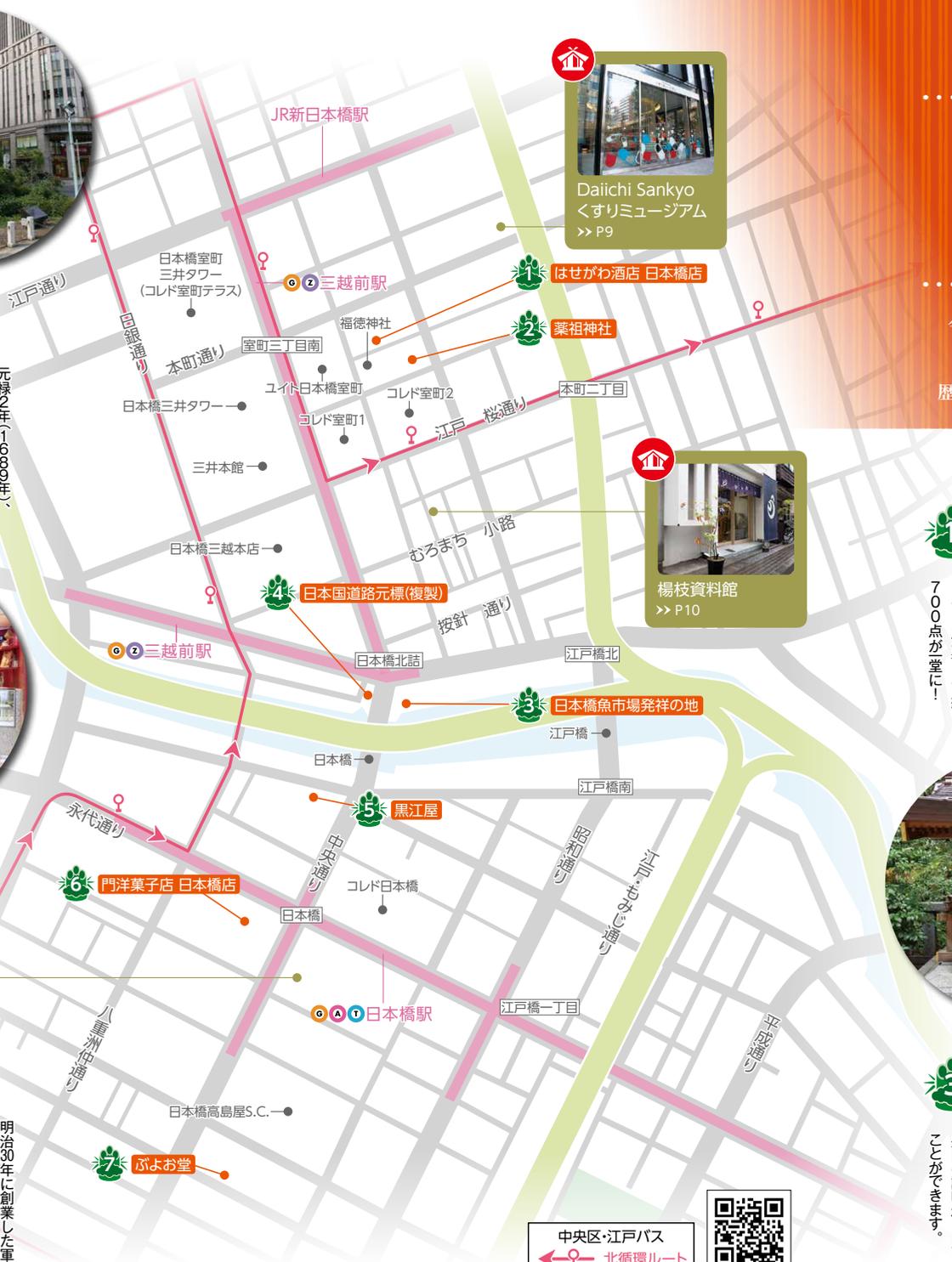
薬祖神社
▶▶ P14

東京薬種貿易商同業組合(現、東京薬事協会)が、上野の五條天神社から薬祖神の御霊を迎え大祭を執行し、昭和4年に組合のビル屋上に創建。平成28年に現在地へ遷座。



日本橋魚市場 発祥の地
▶▶ P14

日本橋の北詰東側は「乙姫広場」として整備され、昭和29年に日本橋魚市場関係者が建立した碑や中央区の説明板を見ることでかぐやま。



中央区・江戸バス
← 北循環ルート

江戸バスの情報はこちらから! ▲

おすすめ スポット

まちかど展示館の皆さんから

おすすめスポットをご紹介します！

まちの見所や素敵なお店に立ち寄り、
展示館巡りの日をさらに楽しく。

※年末年始の休業日、臨時休業や営業時間の変更については、
各店へお問い合わせください。



中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ
薬祖神社



●住所/
中央区日本橋室町2-5-8

玉垣に有名製薬会社の
崇敬がうかがえます
日本橋本町の業界では、昔
から薬祖神を信奉。昭和初期
に組合の屋上に勧請後は、盛
大な祭典が行われたとか。福
徳の森に移転した今も毎年秋
に祭が行われます。周囲の森
ではベンチでひと休み可能。



楊枝資料館
山本さんおすすめ
日本国道路元標(複製)



●住所/
中央区日本橋室町1-1

主要国道7路線の起点
本物は橋の真ん中に
昭和47年、都電廃止後の改修
の際、橋上にあつた東京市道
路元標を北西の袂に移設する
と同時に、路上には日本国道
路元標が埋め込まれました。
文字は当時の佐藤栄作首相に
よるもの。広場には里程標も。



中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ
門洋菓子店 日本橋店

●住所/
中央区日本橋2-1-10
柳屋ビルディングB2F
●TEL/
03-3271-1738
●営業時間/
平日 10:00~17:00
(LO16:30)
●土日祝休
(土は予約のみ営業)
※お支払いは現金のみ

どこか懐かしい
心落ち着く美味しさ
日本橋駅から地下通路で行け
る便利さながら、ゆつたりし
た雰囲気やケーキや食事が楽
しめる穴場。発売当初から変
わらないサラン、ウインナ
コーヒーなどが、近隣の会社
の人にも長年愛されています。



中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ
はせがわ酒店 日本橋店

●住所/
中央区日本橋本町2-1-1
武田グローバル本社1F
●TEL/
03-6262-3111
●営業時間/
(物販) 11:00~20:00
(ランチ) 11:30~15:00
(BAR) 16:00~20:00
(LO各30分前)
●無休(BARのみ土日祝休)
※1/1、2休業

壮観なまでの日本酒！
博多うどんランチも◎
10台もの冷蔵庫にはさまざま
な銘柄がスラリ。飲食店の人
が探し来るといふ日本酒の
品揃えは一見の価値あり。お手
頃なうどんランチ、こだわりの
おつまみも楽しめるパータイ
ムは女性にも人気です。



聚玉文庫ギャラリー
スタッフおすすめ
日本橋魚市場発祥の地



●住所/
中央区日本橋室町1-8

乙姫様の像に
江戸の魚河岸を想う
江戸初期から関東大震災まで
日本橋から江戸橋の北岸にあ
り、大変賑わった日本橋魚市
場の史跡。乙姫像横の階段を
登ると緑をあしらった小さな
テラスが、日本橋や船着き場
を見渡せるビュースポットです。



中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ
黒江屋

●住所/
中央区日本橋1-2-6
黒江屋国分ビル2F
●TEL/
03-3272-0948
●営業時間/
9:00~18:00
●土日祝休

漆器一筋300余年
百種以上のお椀が揃う
お正月用や日常使いの器、箸
や小物、お祝い品や記念品、海
外へのお土産など...。紀
州の根来塗りははじめ、全国
の産地から届いたさまざま
な漆器が勢揃い。大切な漆器の
修理も気軽に相談できます。



中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ
ぶよお堂

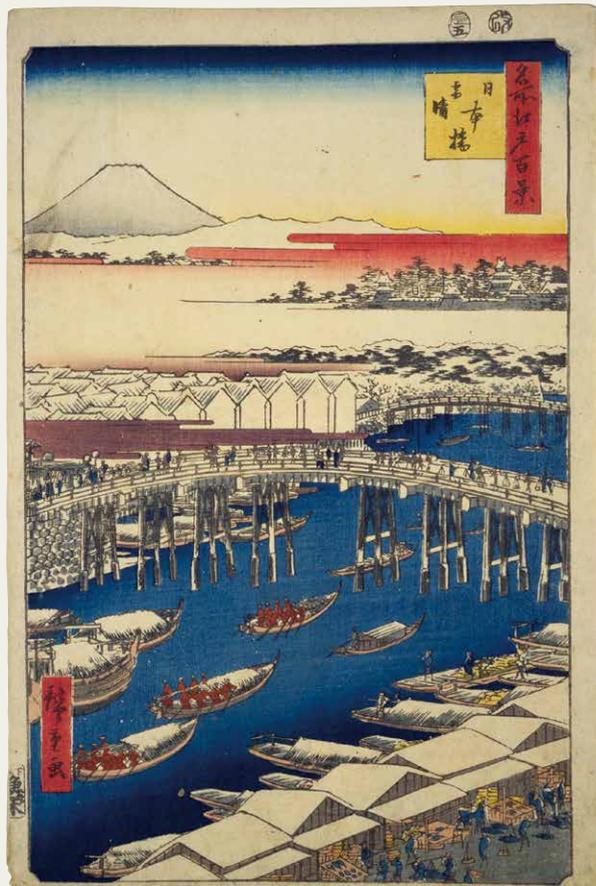
●住所/
中央区日本橋3-8-16
ぶよおビルB2
●TEL/
03-3271-2410
●営業時間/
平日 10:00~19:00
土日 10:00~17:00
●平日の祝日、年末年始、
GW、お盆を除き営業

地図好きには宝の山！
お子様のお土産にも
国土地理院地形図、国内外の
地図、古地図等のほか、地球儀
や地図グッズまで地図関係の
あらゆる品を販売。店内の関
覧スペースでじっくり品定め
できます。オリジナルの地図
カレンダーもオススメ。



日本橋、寒い冬とねぎま鍋

すしに蕎麦、鰻に天麩羅、酒に珈琲、すき焼きにカレー、鮎にあんみつ：中央区には江戸から今に至る食の痕跡がたくさん散らばっています。浮世絵や日本画、洋画などアートの世界にヒントを得ながら、食の痕跡を追いかけ、絵画の道楽も満喫してみませんか。



①名所江戸百景 日本橋雪晴 歌川広重 安政3年 1856年



②新撰江戸名所 日本橋雪晴ノ図 歌川広重（江戸後期）

天保2年（1831）、広重は「東都名所」シリーズを出し注目を集め、風景版画の名手として活躍し、この「新撰江戸名所」など傑作を数多く残した。本作は雪に覆われた日本橋の風情と江戸の人々の息吹を今に伝えてくれる。



②雪で足元の悪い中、魚河岸で仕入れた魚を天秤棒の両端に吊り下げて歩く棒手振り（行人）の男たち。天秤棒は魚の重さで撓んでいる。

画像提供：①② 国立国会図書館
③ 東京都立中央区図書館



③江戸名所百人美女 日本はし 歌川国貞 安政4年 1857年

美人と江戸の名所を組み合わせたシリーズ。国貞が美人を、その門人の一人だった歌川国久がコマ絵として名所の様子を描く。魚河岸のある日本橋らしさとして蛸のつまみが描かれている。

林 綾野

キュレーター、アートライター



美術館での展覧会企画、美術書の執筆などを手掛ける。芸術家にまつわる「食」のレシピ制作、好物料理の再現などを通してアートを多角的に紹介。著作に「画家の食卓」「フェルメールの食卓」（講談社）「浮世絵に見る江戸の食卓」（美術出版社）などがある。

企画した展覧会「谷川俊太郎 絵本★百貨展」が新潟県立万代島美術館にて（1月18日～4月6日）、「堀内誠一展」が東京・立川PLAYMUSEUMにて（1月22日～4月6日）開催予定。

雪景色を愛でる江戸の風情

前の晩、ひとしきり雪が降ったのでしよう。日本橋はあたり一面の雪景色です。雄大な日本橋川には、画面の手前に描かれる魚河岸に魚介を運び入れる船が何艘も行き交っています。そして長さ50mを超える長大な太鼓橋、日本橋の上には往来するたくさんの人々の姿が描かれ、左端には大名行列の一行も見えます。「日本橋雪晴」は、歌川広重の晩年の代表作「名所江戸百景」の1枚。このシリーズは弟子による作品も含めた120点に及ぶ大作で、「日本橋雪晴」はその1点目にあたり、旧暦の正月、雪降る夜が明けた晴れやかな朝の風景を描き出したものです。

魚河岸をはじめ大店が軒をつらねた日本橋は一日千両が動く江戸の経済的な中心地でもあり、その繁栄と共に遠く聳える富士山を背景に浮世絵にも頻りに描かれました。同じく広重による「新撰江戸名所 日本橋雪晴ノ図」は日本橋を北側よりクローズアップで捉えたもので、近景から遠く富士山まで真っ白な雪景です。蔵や船が雪に覆われ、橋の欄干や擬宝珠の上に積もった雪までもが丁寧に描かれており、足元が悪い中、大勢の人が行き来している様子が伝わってきます。平然と歩く人もいれば、雪で滑らないよ

うに身をうねらせる馬の姿もあります。すぐそこが魚河岸なので鹽しほに魚を入れて運んでいる人もおり、天秤棒てんびんぼうの左右に大きな魚をそのまま括りつけて歩く男もいます。この巨大な魚、大きさやその姿からしてマグロではないでしょうか。

マグロは江戸時代、庶民の間で親しまれるようになった魚で、値段も安価でした。安政年間（1854～1860）に赤身の部分を醬油漬しょうゆ漬けにする「づけ」が人気を呼ぶようになり、握り寿司のネタにも登場するようになります。今、「トロ」として重宝される脂身部分は当時あまり好まれません、その脂っぽさや独特の香りを、ごまかすためにネギと一緒に煮る「ねぎま鍋」として食べられることが多かったようです。

江戸の名所と美人を組み合わせたシリーズの1枚、「江戸名所百人美女 日本はし」には蛸たこと猪口ちごを手にした女性の姿が描かれています。彼女の前の長火鉢の上には蓋をしてチリレンゲを乗せた鍋。寒い時分これから温かな鍋をつまみながらお酒を飲もうということでしょう。こんな時にねぎま鍋はぴったりだったに違いありません。雪がたびたび降ったという江戸の冬。日本橋あたりでは食やお酒の力を借りながら、寒さなんてものともせず、江戸の人々は美しい雪景色を心ゆくまで楽しんだことでしょう。

日本橋エリア

13 伊場仙浮世絵ミュージアム

東京都中央区日本橋小舟町4-1 / 03-3664-9261
年末年始・日曜日・祝日を除く毎日 / 8:00~20:00(店舗は月~金曜日 / 10:00~18:00(土曜日は17:00まで) / 祝日・年末年始を除く)
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



14 小伝馬町牢屋敷展示館

東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 / 03-3546-5346[中央区区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00] / 年末年始を除く毎日 / 9:00~20:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/4(土)から



15 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 / 03-3664-5671
月~金曜日(祝日・年末年始を除く) / 9:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



16 イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 田源ビル / 03-3661-9351
年末年始を除く毎日(不定休あり) / 10:00~17:30
年末年始の営業 ◎年末:12/26(木)まで ◎年始:1/6(月)から



17 江戸東京組紐 龍工房体験展示館

東京都中央区日本橋富沢町4-11 / 03-3664-2031
月~金曜日(祝日・年末年始を除く) / 11:00~16:00
※要予約。展示の見学は予約不要。
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



18 つづら学習館

東京都中央区日本橋人形町2-10-1 / 03-3668-6058
月~土曜日(祝日・年末年始を除く) / 10:00~17:00
※つづら制作のため入店できない場合があります。
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



19 三勝ゆかた博物館

東京都中央区日本橋人形町3-4-7 三勝ビルF / 03-3662-3860(平日11:00~16:00)
月、火、木~土曜日(祝日・年末年始を除く) / 14:00~16:00
※1週間前までに要予約。見学は1時間以内。
年末年始の営業 ◎年末:12/25(水)まで ◎年始:1/6(月)から



20 箱崎町箱四町会神輿庫

東京都中央区日本橋箱崎町26-1 / 03-5962-3137(平日 月~金曜日 9:00~12:00)
通年 / 8:00~18:00



21 染物展示館・虎の檻

東京都中央区日本橋浜町2-45-6 / 03-3666-5562
月~土曜日(祝日・年末年始を除く) / 9:00~18:00(土曜日のみ17:00まで)
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/6(月)から



22 江戸表具展示館

東京都中央区日本橋浜町2-48-7 / 03-3666-6494
月~土曜日(祝日・年末年始を除く) / 9:00~18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/6(月)から



23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

東京都中央区日本橋1-19-1 / 03-3278-6611
月~土曜日(祝日・年末年始を除く) / 平日7:30~19:30 土曜日7:30~13:30
年末年始の営業 ◎年末:12/30(月)まで ◎年始:1/6(月)から



24 聚玉文庫ギャラリー

東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー / 03-3272-3801
通年(祝日・年末年始・盆休みを除く) / 10:00~18:30(土・日は17:30まで)
年末年始の営業 ◎年末:12/29(日)まで ◎年始:1/5(日)から
※12/27(金)は17:30閉店



25 兜町・茅場町まちかど展示館

東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 / 090-2465-4001(10:00~19:00)
通年 / 8:30~20:00



🏠 まちかど展示館

江戸開府以来400年以上の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介します。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様にご覧いただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

銀座・京橋エリア

1 江戸ほうき展示館

東京都中央区京橋3-9-8 白伝ビルF / 03-3563-1771
月~土曜日(祝日・年末年始を除く) / 10:00~19:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/6(月)から



2 仏壇・仏具の歴史館

東京都中央区銀座7-14-3 / 03-3542-5771
年末年始を除く毎日 / 10:00~18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/4(土)から



3 渡邊木版画展示館

東京都中央区銀座8-6-19 / 03-3571-4684
月~土曜日(年末年始を除く) / 月~土11:00~18:30 祝日11:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/6(月)から



4 月光荘画材展示館

東京都中央区銀座8-7-2 永寿ビル1F、B1F / 03-3572-5605
年末年始を除く毎日 / 月~金曜日11:00~18:00 土・日曜日・祝日11:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/25(水)まで ◎年始:1/5(日)から



5 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

東京都中央区銀座8-7-18(見番通り)かなめ屋ビル1F / 03-3571-1715
月~土曜日(祝日・年末年始を除く) / 平日11:00~20:30 土曜日12:00~19:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



6 足袋の博物館

東京都中央区新富2-2-1 / 03-3551-0896
月~土曜日(祝日・年末年始を除く) / 9:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



7 ミズノプリンティングミュージアム

東京都中央区入船2-9-2 ミズノプリンテック株式会社6F / 03-3551-7595
月~金曜日(祝日・年末年始を除く)※要予約 / 10:00~12:00, 13:00~16:00
年末年始の営業 ◎年末:12/22(日)まで ◎年始:1/8(水)から



8 松竹大谷図書館

東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F / 03-5550-1694
月~金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日・5月1日、11月22日、春期および夏期整理期間を除く) / 10:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/25(水)まで ◎年始:1/10(金)から



9 のれん・提灯・下絵の展示館

東京都中央区築地6-5-5 / 03-3541-3741
月~土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) / 9:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/9(月)まで ◎年始:1/20(月)から



月島エリア

26 佃まちかど展示館

東京都中央区佃1-2-10先 / 03-3546-5346[中央区区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00]
通年 / 常時開館



27 石川島資料館

東京都中央区佃1-11-8 ビアウエストスクエア1F / 03-5548-2571
水・土曜日(年末年始を除く) / 10:00~12:00, 13:00~17:00(入館は16:30まで)
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/8(水)から



28 勝どき・豊海歴史資料展示館

東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 / 03-3546-5346[中央区区民部文化・生涯学習課内 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00]
土・日曜日 / 10:00~16:00



29 ふるさと晴海資料展示館

東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 / 03-6204-2466(11:00~16:00)
通年 / 常時開館



日本橋エリア

10 楊枝資料館

東京都中央区日本橋室町1-12-5 / 03-5542-1905
月~土曜日(祝日を除く) / 月~金10:00~17:00 土12:00~17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



11 Daiichi Sankyo くすりミュージアム

東京都中央区日本橋本町3-5-1 / 03-6225-1133
火~日曜日・祝日・振替休日(年末年始を除く)※要予約 / 10:00~17:30
年末年始の営業 ◎年末:12/29(日)まで ◎年始:1/5(日)から



12 小津史料館

東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル / 03-3662-1184
月~土曜日(年末年始を除く) / 10:00~18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)13:00まで ◎年始:1/6(月)から

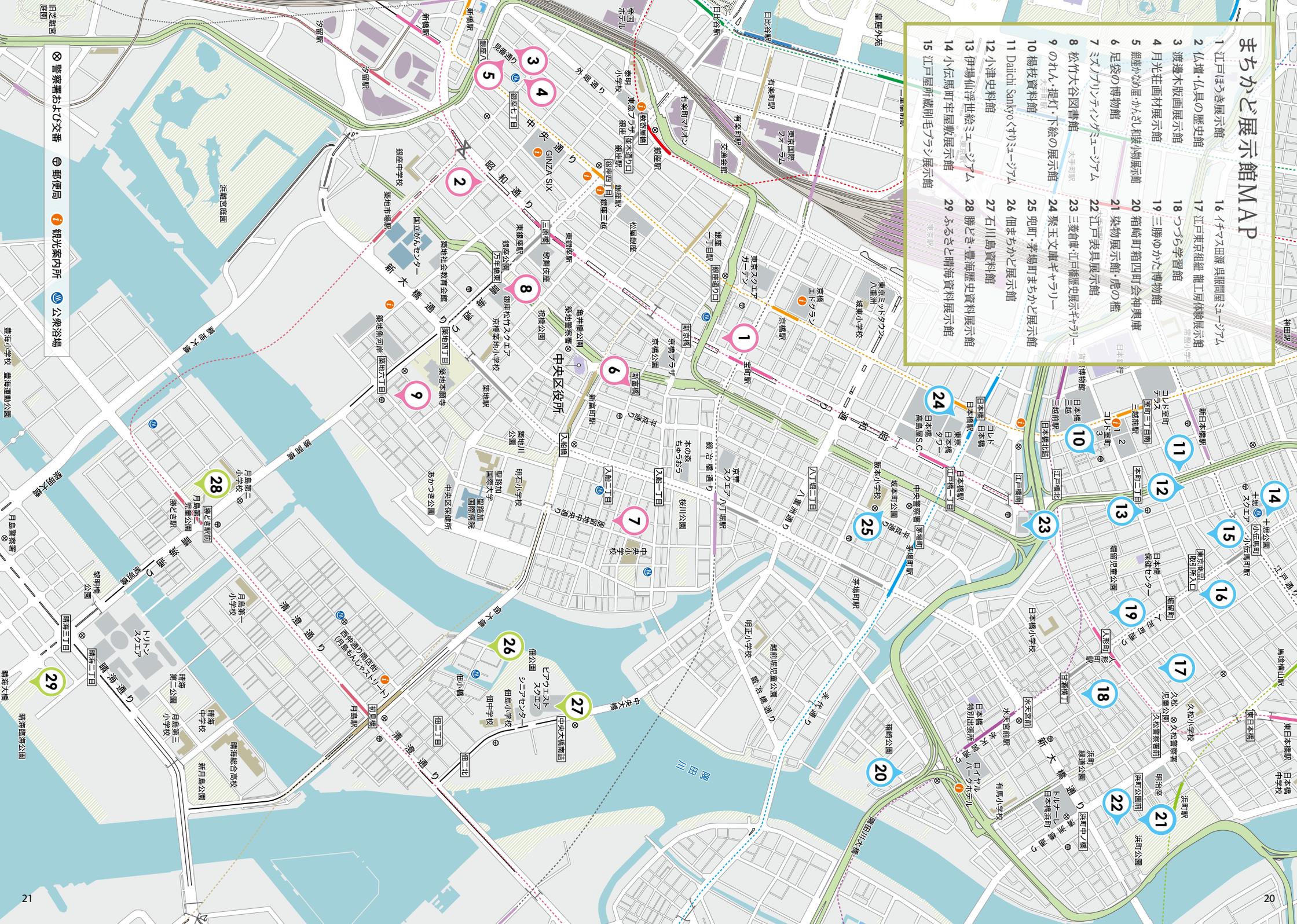


※臨時休館や開館時間を変更している場合があります。詳しくは各館にお問い合わせください。

📄 スタンプを設置している展示館です。

まちかど展示館MAP

- 1 江戸ぼうき展 歴史館
- 2 仏壇・仏具の歴史館
- 3 渡邊木版画展示館
- 4 月光荘画材展示館
- 5 銀座かんざし屋かんざし和装・着物展示館
- 6 足袋の博物館
- 7 ミスプリアテナブコムニークム
- 8 松竹大谷図書館
- 9 のれん・提灯・下駄の展示館
- 10 楠枝資料館
- 11 Daichi Sankyoベトナムミュージアム
- 12 小津史料館
- 13 伊場仙孚世経ミュージアム
- 14 小伝馬町年屋敷展示館
- 15 江戸屋新蔵刷毛ブラシ展示館
- 16 イチヤス田源 呉服問屋ミュージアム
- 17 江戸東京細盤 龍工房体験展示館
- 18 つつら学習館
- 19 三勝ゆかた博物館
- 20 箱崎町箱四町会神輿庫
- 21 染物展示館・虎の檻
- 22 江戸表具展示館
- 23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
- 24 聚玉文庫ギャラリー
- 25 兜町・茅場町まちかど展示館
- 26 佃まちかど展示館
- 27 石川島資料館
- 28 勝どき・豊海歴史資料展示館
- 29 ふるさと晴海資料展示館



⊗ 警察署および交番
 ⊕ 郵便局
 ! 観光案内所
 ♨ 公衆浴場

アンケートにお答えいただいた方から

抽選で毎月5名様に まちかど展示館オリジナルグッズを プレゼント!

本誌のアンケートはがきでアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で毎月5名様に、素敵なプレゼントを差し上げます。どうぞお気軽に本誌へのご意見やご感想をお寄せください。

■応募締切とプレゼントの発送

毎月末日(当日消印有効)

当選者様へは、翌月10日前後にプレゼントを発送します。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※アンケートにご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送やご記入者様へのご連絡、また個人が特定できない統計資料の作成に利用させていただきます。個人情報

■アンケートに関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会(中央区文化・生涯学習課内)
TEL.03-3546-5346

STAMP

1

STAMP

2

キリトリ

1. 本季刊誌をどこでお知りになりましたか? またはどこで勝手に取りましたか?
1. まちかど展示館 2. まちかど展示館HP・SNS 3. 観光情報センター 4. 区施設
5. 区内飲食店、商業施設等 6. 駅ラック 7. その他()
※複数回答可
2. 本季刊誌のVol.1~16をご存知ですか?
1. はい 2. いいえ
3. 訪れた展示館名を教えてください。
4. 今後、取り上げて欲しいテーマや内容はありますか?
5. 本季刊誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

お年玉スタンプラリー

STAMP

1

STAMP

2

キリトリ

中央区まちかど展示館

お年玉スタンプラリー



本誌のアンケートはがきでアンケートにお答えいただき、
展示館2カ所のスタンプを押してご応募いただいた方の中から抽選で30名様に
素敵なお年玉をご用意しました。年末年始はまちかど展示館を回ってお年玉をゲットしましょう!

■ご注意

- 展示館内にスタンプを設置していない下記の5館については、中央区まちかど展示館協議会事務局(区役所8階 文化・生涯学習課)で押印します。
②箱崎町箱四町会神輿庫 ⑤兜町・茅場町まちかど展示館 ⑥佃まちかど展示館 ⑧勝どき・豊海歴史資料展示館 ⑨ふるさと晴海資料展示館
◎臨時休館や開館時間を変更している場合があります。
- プレゼントをお選びいただくことはできません。●当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
- 今回の応募を利用された際の個人情報は、当イベント以外の目的で使用することはありません。

■応募締切: 2025年1月31日(金) 必着

年末年始の休館情報は18~19ページをご覧ください。

■応募方法:

- 郵送の場合 巻末のはがきでご応募ください。
ご応募の際には、お名前、年齢、住所、ご連絡先(電話番号)、メールアドレスを必ず記載してください。
- メールの場合 メールアドレス: b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp
巻末ハガキに押したスタンプが全て写るように撮影した画像を添付し、メール本文にお名前、年齢、住所、ご連絡先(電話番号)、メールアドレス、ハガキ裏面のアンケート回答を必ず記載してください。(上記内容を記載した巻末ハガキの写真(両面)を添付でも可)



ブックカバー
松竹大谷図書館



パズル
小津史料館



蛇腹便箋レターセット
聚玉文庫ギャラリー

※写真は特典の一部です。

■中央区まちかど展示館ホームページ ▶ <https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

■中央区まちかど展示館公式SNS   

■まちかど展示館スタンプに関するお問い合わせ・応募先
中央区まちかど展示館運営協議会 中央区築地1-1-1 中央区役所
TEL.03-3546-5346(中央区文化・生涯学習課内)

